

提 案 概 要

実施期日	7月29日(火)【午前】
部 会 名	小学校 特別支援教育部会

1 提案テーマ 『身体意識を高める授業づくり』～体づくり運動を通して～

2 単元(題材) 体育科 体づくり運動 多様な動きを作る運動

3 学年 知的障がい学級 自閉症・情緒障がい学級

4 平成25・26年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

- ②児童一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導内容、指導方法、指導体制、評価の工夫・改善
- ④発達の段階や障がいの特性を踏まえた教材の工夫
- ⑤個々の児童が自立を目指し、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うための指導の充実

5 学習指導要領との関連(内容項目)

第2章 第9節 体育 第2 各学年の目標及び内容 [第1学年及び第2学年] 2 内容 A 体づくり運動

6 実践に向けての課題意識

本学級では、一昨年度(平成24年度)まで「友だちとの関わりから身体意識を高める」をテーマに体育科における研究及び実践を行った。「体づくり運動」を通して、児童の身体意識の高まりや様々な場面での友だち同士の関わりについて、ゆるやかではあるが確かな手応えや成果が得られた。

昨年度(平成25年度)発表者自身が初めて特別支援学級の担任となった。本学級の3年間の研究の過程とその成果を知ることで、「体づくり運動」が身体意識を高める重要な要素であるとの認識をもつことができた。そこで入学したばかりの1年生A児の実態を踏まえ、この児童が身体意識を高めていくためにどのように支援していったらよいかを考えた。

7 実践の概要

全学年に応じた指導を年間計画に基づいて行っている。入学したA児に対し、「体づくり運動」を通して、身体意識を高められるような授業づくりに努めてきた。11月と2月の2回に渡り、作業療法士の方を講師として招き、身体意識を高めるための指導法について助言をいただいた。

様々な活動を継続して行う中で、A児にとって、適切な支援が行えるよう取り組んできた。

8 成果と課題

A児は、基本的な動きについては動作模倣できることが多く、身体意識の向上に対する取組において、個別支援を行うことで、少しずつではあるがA児なりの成長が見られた。

今後は、一つひとつの運動をさらにしっかりとできるようにすること、例えばラジオ体操の回旋運動では、両腕を大きく回すことができること、いろいろな動きの中の腿上げにおいては、両足を交互に高くあげることができるようにすること等をねらっていきたい。また、各運動を通して、柔軟性や筋力、バランス感覚等を養い、さらに身体意識を高めていくための指導はどうあるべきかが課題と考えている。

9 予想される協議の柱

- ・特別支援学級における体育科の授業の在り方及び個の実態に合わせた指導法の工夫。
- ・外部講師の活用について。
- ・円滑なチームティーチングの在り方。